

研究機関：広島大学

研究課題名	光干渉断層計、波面収差解析、共焦点顕微鏡測定装置を用いた包括的角膜光学的特性評価
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間泰一郎
研究期間	2017年3月8日(倫理委員会承認後)～2027年1月31日
研究対象者	2017年3月8日から2026年7月31日の間に、広島大学病院眼科で、角膜疾患があり視機能に異常を呈する患者さんのうち、日常診療で波面収差解析装置、光干渉断層計、共焦点顕微鏡検査を実施した患者さん。
意義・目的	近年、眼内レンズや角膜手術法はめざましい進歩を遂げています。白内障手術では、波面収差解析装置により高次収差が定量化できるようになり、角膜移植は、光干渉式角膜形状解析装置により手術前後の光学的特性の客観的、定量的評価が可能になりました。さらに、共焦点顕微鏡検査は、従来まで生検が困難なため病理組織学的検査が出来ない角結膜疾患において、外科的手技を行うことなく細胞レベルでの病態の解明や病原体の確定が可能となり、病態の解明に役立っています。これらの機種を用いて、系統的に角膜疾患の光学的特徴と病態を明らかにし、より効率のよい検査、治療を開発することが目的です。
研究方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、治療経過、角膜形状、角膜収差、高倍率顕微鏡検査結果などです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	本研究は本学単独で行います。
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5247 広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間泰一郎